

## かわさき教育プラン 学校教育改革重点施策案 新旧対照表

第 4 回専門部会提示案	第 4 回専門部会提示後、児島部会長修正案
<p><b>(1) 改革の視点</b></p> <p>川崎市においては「子どもたちの夢を育む 川崎の教育」という目標の下、これまでも多様な教育施策を実施してきましたが、今後 21 世紀にふさわしい学校像を構築していくために、新しい時代に対応した教育改革の柱として、次の 4 つの基本的な改革の視点を示し、望ましい学校教育を推進していきます。</p> <p>1 子どもたちの<u>確かな成長を願って</u>          子どもの人権を尊重し、「確かな学力」を育て、豊かな人間性を育む教育を充実させる。</p> <p>2 <u>特色ある学校づくりをめざして</u>          子ども、保護者、川崎市民の希望や期待に応え、地域課題をふまえた夢を育む学校づくりに努める。</p> <p>3 <u>教職員の力量形成と向上をめざして</u>          創意と活力にあふれた夢のある教職員が子どもに夢を育む。</p> <p>4 <u>学校・家庭・地域の子育ての体制づくり</u>          地域を基盤に学校と家庭が手を結び、子育ての支援体制を強化する。</p>	<p><b>(1) 改革の視点</b></p> <p>川崎市においては「子どもたちの夢を育む 川崎の教育」という目標の下、これまでも多様な教育施策を実施してきましたが、今後 21 世紀にふさわしい学校像を構築していくために、新しい時代に対応した教育改革の柱として、次の 4 つの基本的な改革の視点を示し、望ましい学校教育を推進していきます。</p> <p>1 子どもたちの<u>健やかな成長の保障を</u>めざして          子どもの人権を尊重し、「確かな学力」を育て、豊かな人間性を育む教育を充実させる。</p> <p>2 <u>地域に根ざした特色ある学校づくり</u>をめざして          子ども、保護者、川崎市民の希望や期待に応え、地域課題をふまえた夢を育む学校づくりに努める。</p> <p>3 <u>教職員の力量形成と向上</u>をめざして          創意と活力にあふれた夢のある教職員が子どもに夢を育む。</p> <p>4 <u>学校・家庭・地域の子育ての体制づくり</u>          地域を基盤に学校と家庭が手を結び、子育ての支援体制を強化する。</p>
<p><b>(2) 改革の方向性</b></p> <p>上記の視点に従い、目的を達成するため、以下の方向性で施策を推進します。</p>	<p><b>(2) 改革の方向性</b></p> <p>上記の視点に従い、目的を達成するため、以下の方向性で施策を推進します。</p>

### 【1】子どもたちの確かな成長を願って

いのちの教育、夢をはぐくむこころの教育を推進します。

これまで川崎市は、「子どもの権利に関する条例」を制定するなど、人権尊重教育に積極的に取り組み、川崎の教育施策の基礎理念としてきました。この姿勢はこれからも変わることなく進めてまいりますが、すべての子どもたちに学習が受けられるような支援体制を図っていく等、より一層、子どもの人権を尊重した施策を推進していきます。また、いじめ・体罰の根絶や不登校の減少に向けた具体的な施策、家庭や地域の教育力の向上をめざした取り組みを推進します。

子どもが生涯にわたって健やかに生き抜く教育に取り組めます。

子どものこころが健やかに育つことは、社会の願いです。人間のこころの形成期ともいえる一生で一番大事な時期にある子どもを、支援・指導できる協働体制をつくり、教師が子どもと主体的に関わりあえることを大事にします。

さらに、教職員に対する専門家等の相談・支援体制を整えることで子どもを取り巻く支援体制を強化していきます。

また、一人一人の子どもたちに目が行き届くよう、指導できるシステムづくりや特別支援教育への取り組み、学校教育と社会教育が一層連携をした支援体制づくりなどを強化していきます。

### 【1】子どもたちの健やかな成長の保障を目ざして

いのちの教育、こころの教育を一層、推進します。

これまで川崎市は、「子どもの権利に関する条例」を制定するなど、人権尊重教育に積極的に取り組み、川崎の教育施策の基礎理念としてきました。この姿勢はこれからも変わることなく進めてまいりますが、より一層、子どもが自信と誇りを持って生きていけるよう自尊感情をはぐくみ、同時に他者を大事にし共に生きる力の育成をめざした施策を推進していきます。特に、いじめ・体罰の根絶や不登校の減少に向けた具体的な施策、家庭や地域の教育力の向上をめざした取り組みを推進します。

子どもが生涯にわたって健やかに生き抜く教育に取り組めます。

子どものこころが健やかに育つことは、社会の願いです。人間のこころの形成期ともいえる一生で一番大事な時期にある子どもを、支援・指導できる保護者、地域住民、教師等の協働体制づくりを推進します。中でも教師が子どもにじっくり向き合い、共に成長していく体制づくりを大事にします。

さらに、教職員をバックアップする専門家等の相談・支援体制を整えることで子どもを取り巻く支援体制を強化していきます。

また、一人一人の子どもたちに目が行き届くよう、指導できるシステムづくりや特別支援教育への取り組み、学校教育と社会教育が一層連携をした支援体制づくりなどを強化していきます。

より良い社会を創り出していく「確かな学力」の育成をめざします。

社会では基礎的な学力の低下が懸念されていますが、その背景に学校完全週5日制などに伴う、絶対的な授業時間の減少も要因のひとつとして考えられます。また、基礎的な学力が各学校できちんと定着しないまま上級学校に進学しているという現状も見られます。

ところで、社会的に関心が高まっている「学力」ですが、川崎市では、新学習指導要領がめざす「生きる力」を備えた子どもを「確かな学力」もった子どもとしてとらえます。「生きる力」とは、知識や技能を身につける活用する力、学ぶことへのやる気や意欲、自分で考え判断する力、自分を表現する力、問題を解決し、自分で道を切り開いていく力といった総合的な力です。この「確かな学力」をどのように評価していくのかを、保護者や市民の方々と考えていくことで、有効な施策を進めていきます。

今後は、学力低下を問題とするのではなく、「確かな学力」をつけることを課題として、習熟度別学習などの少人数指導の一層の導入やチーム・ティーチングなどの指導体制を充実していきます。

また、学校二期制や義務教育の全期間を見据えた上でのカリキュラム編成の導入を図るなど、長期的な視点で子どもの理解度を確かめながら学習を進めていきます。

より良い社会、よりよい川崎を創り出していく「学力」の育成をめざします。

川崎市では、「学力」を知識や技能を身につけそれらを活用する力、学ぶことへのやる気や意欲、自分で考え判断する力、自分を表現する力、問題を解決し、自分で道を切り開きよりよい社会を創り出す力といった総合的な力ととらえます。この「学力」がどのように子どもに育っているかを評価するために、保護者や市民の方々の意見や評価も取り入れながら、学校教育の改善につながる有効な施策を進めていきます。

今後は、知識の量のみによる学力低下を問題とするのではなく、上に述べた「確かな学力」をつけることを課題として、習熟度別学習などの少人数指導の一層の導入やチーム・ティーチングなどのひとりひとりの子どもへのきめ細かな指導体制や指導法を充実していきます。

また、学校二期制をはじめ義務教育の全期間（9年間）を見据えた上でのカリキュラム編成の検討を図るなど、長期的な視点で子どもの理解度を確かめながら学習を進めていきます。

## 【2】特色ある学校づくりをめざして

川崎という地域に深く根ざした、特色ある教育活動の編成と展開をめざします。

保護者や地域の方々からの要望や地域性等により各学校独自の特色が生まれてきます。既に、学校教育推進会議（学校評議員）や地域教育会議などでは、地域性を生かした取り組みが展開され、学校改革の一翼を担っています。今後、各学校が校長のリーダーシップのもと、学校の自主性や自律性を発揮していくことで、更に、特色ある教育活動の編成と展開を図ります。

すでに、有能な外部人材活用の導入に努めていますが、更に積極的に推進することが大切です。同時に、豊かな体験活動の一層の推進や学校プランの発信など、保護者や地域の人々との意図的・計画的な連携を図っていきます。

また、「読書のまち かわさき」事業や「音楽のまち かわさき」事業など、生涯学習につながる事業を展開していきます。

## 【2】地域に根ざした特色ある学校づくりをめざして

川崎という地域に深く根ざした、特色ある教育活動の編成と展開をめざします。

保護者や地域の方々からの要望や子どもの生活の場をふまえて健やかな成長の保障をめざすと、自ずからその教育活動には各学校独自の特色が生まれてきます。そのために学校の自主性・自律性を尊重するとともに、学校教育推進会議（学校評議員）や地域教育会議などによる意見や要望を反映し、地域性を生かした取り組みの一層の推進を図り、各学校が校長のリーダーシップのもと、更なる特色ある教育活動の編成と展開を図ります。

すでに、有能な外部人材活用の導入に努めていますが、更に積極的に推進して、豊かな学習を創り出すとともに、豊かな体験活動の一層の推進を図っていきます。